

出張報告

報告日 令和4（2022）年12月7日

会派名	公明党
報告者氏名	若井 恵子
種別	<input checked="" type="checkbox"/> 調査研究（ <input type="checkbox"/> 行政視察） <input type="checkbox"/> 研修会 <input type="checkbox"/> 要請・陳情 <input type="checkbox"/> 各種会議
用務	東松島ファーム視察
日時	令和4年11月24日（水） 13:00～15:00
場所 （会場）	株式会社東松島ファーム（宮城県東松島市浜市字新田83）旧浜市小学校
調査項目等	旧小学校を利活用した植物工場について
概要	<p>株式会社東松島ファームは植物工場ショールーム&研究開発拠点として2016年4月に資本金3635万円（出資者3社）で設立。宮城県内最大の完全人工光型無人化植物工場として稼働し、植物工場で収穫される野菜の生産や販売、植物工場に関するコンサルティング、研究開発、その他研修の受入れ、研究の受託、工場運営の受託などの事業を展開している。本社屋は旧東松島市立浜市小学校が、東日本大震災で津波による浸水被害を受け、その当時避難した地域住民約400名が全員助かった場所であること、長年にわたり地域の中核施設として親しまれてきた場所であることから地元から解体しないで保存活用する要望が上がっていた。その後、2015年に東松島市が民間による施設の利活用・改修計画の公募をし、事業採択された。社員は5名。パート職員15名で通常10名のシフトで運営されている。設備投資に4億5000万円、ラーニングコストは主に電気料金で250万円。現状、レタスなど葉物野菜を4000株で400kg生産している。全国では廃校利用しての植物工場は2か所である。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"></div> <p style="text-align: center;">東松島ファームで説明を聞く</p>

所 感 等	<p>廃校の跡地利用はどの自治体も大きな課題であり、地域に愛されてきた学校であり有効活用が求められるだけでなく地域貢献へとつながる施策へと事業展開することが必要である。今回、視察した東松島ファームは概要に示す通り、廃校を有効活用されているが、開業に至るまでの過程において市街地調整区域であったために用途変更などで時間を要した。体育館を使った野菜工場はオートメーション化され、LED 照明を利用した工場内で生育し、洗わないで食べられる葉物野菜を中心に生産している。廃校利活用の一例として視察したが、当市も少子化の影響で学校が統廃合を余儀なくされ、廃校となり、その後利活用されない状況が続いているわけで早急に研究検討をしていかなければならないと感じた。</p>
-------	--